

有害外来植物の特徴・駆除方法

セイタカアワダチソウ

1 特徴

- ・キク科の多年生草本 地下茎を持つ
- ・茎の高さは1～2.5m以上になる
- ・葉は茎に沿って多数が密生 細長く、長さ6～13cm、幅1～2cm
- ・花部は全体で10～50cm 黄色い小さな花を多数付けた花枝が横に広がる
- ・生育場所 河川敷、土手、荒地、路傍等 日当たりの悪い所でも適応する



2 どんな被害を引き起こすのか

- ・旺盛な繁殖力と背の高さ、アレロパシー作用（根と地下茎から他の植物の発芽や成長を阻害する物質を出す）により、固有の在来植物の減少を招く

3 発芽・開花・結実の時期

開花 8月から11月 結実 11月から12月

4 駆除方法

①抜き取り（根絶を目指す）

- ・スコップ等で根茎ごと抜き取る

②刈り払い（抑える、増やさない 広範囲を防除したい場合に適する）

- ・刈払機等で年2回以上地上部を刈り取る 成長や開花を抑制できる
- ・花が咲いていても結実前であれば種子の拡散は防げる